

### 【短報】伊豆諸島におけるハマベキクイゾウムシの分布について

ハマベキクイゾウムシ *Dryotribus mimeticus* Horn, 1873 は後翅の退化したクイゾウムシ亜科のゾウムシ類で、国内ではマツやヒノキの枯れ木から得られ、海岸地帯に生息する（森本, 1984）。海外では、南フロリダで、海岸に漂着した流木や板の下に普通に見られる（Anderson, 1992）。本種は、海洋島や環礁を含む太平洋ならびにインド洋、大西洋の島々やその周辺地域から知られ、極めて広い分布域を有し、本種の分布域拡大には海流のみならず人為的影響が関与していることが示唆されてきている（Zimmerman, 1940；亀澤, 2014）。

国内における本種の分布は、北海道、奥尻島、本州、飛鳥、伊豆諸島、小笠原諸島、南鳥島、四国、九州ならびにトカラ列島、奄美大島、石垣島、北大東島などの琉球列島から知られる。このうち伊豆諸島における記録は、大島、新島、式根島、三宅島、八丈島、八丈小島、青ヶ島からで（Morimoto & Miyakawa, 1986；小島, 2014；亀澤, 2014）、最近、御蔵島より記録された（亀澤, 2014）。筆者は、これまで記録のなかった利島や神津島において本種を採集しているので、以下の通り報告する。今回の報告により、本種は有人の伊豆諸島すべての島に分布することになる。

検視標本：11 exs., 利島村落入口, 19-VI-2014；9 exs., 神津島沢尻海岸付近, 23-V-2014, すべて筆者採集・保管。

上記個体は、道路脇（利島）やホテル周辺（神津島）に植栽されたソテツの葉柄枯死部ならびに古い雄花から得られた。神津島の産地は海岸からそれほど離れていないが、利島では海岸から100 mほど離れた、海拔20 mほどの集落入口にて採集した（図1）。筆者が伊豆大島や青ヶ島、トカラ列島で本種を採集した際も今回と同様、植栽されたソテツの



図1. ハマベキクイゾウムシの生息環境（利島）。



図2. ハマベキクイゾウムシ成虫の加害部位（矢印；青ヶ島）。

同一部位から採集され、青ヶ島では海岸から600 mほど離れた、海拔300 mほどの集落内で得られた（図2）。

これらの状況から判断する限り、本種の伊豆諸島内における分布形成には、海流等による自然要因のみならず、苗の移動や植栽等による人為的要因が関わっている可能性がある。しかし、現状では推測の域を出ず、今後、分子データを利用した集団遺伝構造の解析等による検証が待たれる。

なお、本研究は日本学術振興会科学研究費補助金（課題番号 24510333）の助成を受けて行われた。

### 引用文献

- Anderson, R. S., 1992. Curculionoidea of southern Florida: An annotated checklist (Coleoptera: Curculionoidea [excluding Curculionidae; Scolytinae, Platypodinae]). *Insecta Mundi*, 6: 193–248.
- 亀澤 洋, 2014. ハマベキクイゾウムシ（ゾウムシ科；クイゾウムシ亜科）の分布とその生息環境について。さやばねニューシリーズ, (14): 46–49.
- 小島弘昭, 2014. 伊豆諸島八丈小島のゾウムシ上科甲虫。さやばねニューシリーズ, (14): 34–36.
- 森本 桂, 1984. ゾウムシ上科. 林 匡夫, 木元新作, 森本 桂（編著）, 原色日本甲虫図鑑, 4: 226–348. 保育社, 大阪.
- Morimoto, K. & S. Miyakawa, 1985. Weevil fauna of the Izu Islands, Japan (Coleoptera). *Mushi*, 50: 19–85.
- Zimmerman, E. C., 1940. Synopsis of the genera of Hawaiian Cossoninae with notes on their origin and distribution (Coleoptera, Curculionidae). *Occasional papers of Bernice P. Bishop Museum*, 15: 271–293.

（小島弘昭 東京農業大学昆虫学研究室）